

# 八尾の歴史遺産シリーズ

環山楼（かんざんろう）でのYさんとOさんの話はまだ続いているようです。

Y「今年はきびしい寒さの日が多いですなあ。」

O「そうですね。せやよって、山んねきの愛宕塚古墳付近の元日さくらの咲くのも遅いらしいですわ。」

Y「ところで、1月30日付の『八尾タイムズ』という新聞で、八尾市は

岡山県和気町と大分県宇佐市と災害協定を結んだと載ってましたけど、八尾市は和気町や宇佐市とどんな関係がありますねんやろなあ。」

O「それは道鏡に絡む関係ですわ。道鏡は物部氏（八尾市南部）出身の僧ということば、ご存知やと思います。」

Y「はあ、奈良時代に聖武（しょうむ）天皇の娘さんの称徳（しょうとく）天皇に取り入った悪僧ですやろ。」

O「いいえ、悪僧とちがいます。立派な高僧です。けど、称徳天皇の寵愛を受けたことは確からしい。称徳天皇は765年道鏡を太政大臣

禪師（だじょうだいじんぜんじ）の位につけ、翌年には法王に。即ち、道鏡は行政の最高ポストにつきました。」

Y「法王のままではええのに、天皇になろうとしましてんなあ。」

O「そこで、和気清麻呂（わけのきよまろ）という男に九州の宇佐八幡宮の神にお告げをもらいに行かせましてん。そしたら『天日嗣（あまつひつぎ）は必ず皇緒（こうちよ）を立てよ』というお告げをもらって清麻呂は帰ってきました。天皇の後継は皇族から出せ、という意味です。それで道鏡は怒り清麻呂を大隅鹿兒島県へ流罪にしてみました。」

Y「宇佐八幡宮は宇佐市に在りますねんなあ。」

O「そうですね、全国の八幡宮の本家みたいな所です。また、清麻呂の出身地は和気町です。今は清麻呂を祀る和気神社があります。」

Y「昔は対抗してたけど、今は仲よろしゅういっわけですか、なるほど。」

# 八尾なんやかや(2)

## 地域活動と市民活動がコラボ

### Vol.81「地域交流の現場に行こう！」



2月11日（土・祝）に八尾市堤町にある堤町集会所で、地域の高齢者クラブである堤町「ことぶき会」が開催する「ふれあい喫茶」に参加しました。

堤町「ことぶき会」では、毎月第2・第3・第4土曜日に地域の高齢者や地域住民の交流の場として「ふれあい喫茶」を行っています。喫茶で交流を図り、かつ地域のお知らせといった情報提供や、みんなで歌を歌うなど、地域のさまざまな機能・役割を果たしている場になっています。この活動は、地域にお住まいの約700人の高齢者を対象に始められ、現在では堤町「ことぶき会」の高齢者の構成員が約70人から約140人になり2倍に増えました。

今回はその現場に参加する企画として、市民活動団体で「笑い歌エクササイズ」の歌と全身運動をあわせたエクササイズを約40分行いました。地域の方々に温かく迎えていただき皆様と一緒にエクササイズを行いました。地域活動の現場で市民活動が参加しコラボレーション（協働）ができたことが大きな一歩を踏んだと思います。今回このような機会をご提供いただきました、堤町「ことぶき会」の皆様、本当にありがとうございました。（つどいスタッフ 新福 泰雅）

### 堤町「ことぶき会」での市民活動団体発表を募集します！！

堤町「ことぶき会」の「ふれあい喫茶」に地域の高齢者がさらに多く参加され交流を図るため、例えば地域のみなさんに楽器を使った演奏など普段見られない、聞けない楽しみを提供できる市民活動団体を募集します。センター「つどい」までご連絡をお待ちしております。

# 広がりの交流会 開催報告